

令和 7 年度におけるスポーツ推進計画の主な取組み状況について

基本目標 II 感動と活力に満ちた競技スポーツの推進

推進項目

- (1) トップアスリートの育成・強化の推進
- (2) 競技スポーツに対する推進体制の充実
- (3) トップレベルのスポーツに触れる機会の創出

1 スポーツ振興激励金の交付

- ・大会参加における選手のモチベーションの維持や市民のスポーツへの関心を高めるため、国際大会、全国大会等上位大会へ出場する選手等へ激励金を交付した。
- ・令和 7 年度は、東京 2025 デフリンピックに出場した本市出身の 3 名の選手を含め、157 名の選手に対して 1,396 千円を交付（令和 7 年 12 月末現在）。

2 スポーツ指導者養成

- ・指導者の資質向上を図るための実技講習や講演会等の開催を（公財）酒田市スポーツ協会へ委託している。
- ・「怪我の対処・予防について」をテーマに、みずほ整骨院の院長 吉泉貴裕氏を講師に招いた講演会（令和 7 年 12 月 13 日）を INPEX 酒田アリーナで開催し、競技団体の指導者等 15 名が参加。
- ・2 回目は「Walk Your Dreams～東京 2025 デフリンピックまでとこれから～」をテーマに、東京 2025 デフリンピックのサッカー競技において日本史上初の銀メダルを獲得した齋藤心温選手（HOYA Technosurgical(株)所属）を講師に招いた講演会（令和 8 年 2 月 21 日）を公益ホールにて開催予定。

3 （公財）酒田市スポーツ協会

- ・競技団体及び選手の育成強化、指導者の育成・資質向上、スポーツ教室開催等により、競技者の拡大・普及における事業を展開している（公財）酒田市スポーツ協会の強化事業に対し補助金を交付した。
- ・各競技団体への強化費交付について、従来の各種大会における成績等を考慮したものから、明確な選手育成ビジョンを持って強化計画を作成・実施する競技団体へ交付する方法に令和 4 年度から見直しを図っている（令和 7 年度は 11 競技団体が計画書を提出。交付予定額は 4,464 千円（令和 7 年 12 月末現在））。

4 山形県縦断駅伝競走大会・女子駅伝競走大会

- ・第 69 回山形県縦断駅伝競走大会（令和 7 年 4 月 27 日～29 日）で、酒田飽海チームは社会人を中心に、若手とベテランの力を融合したチーム構成で大会に臨み、総合トップで最終日を迎えました。最終日は 7 位でゴールテープを切り、総合 2 位の結果。第 2 日目の優勝は今後を担う世代に刺激を与え、来年の大会に繋がる走りを見せてくれた。
- ・第 41 回山形県女子駅伝競走大会（令和 7 年 11 月 16 日）では、酒田飽海チームは大学生と高校生、中学生が融合したチーム編成で、レース序盤から終盤まで中国を堅守し、大きく崩れることなく安定した走りを披露し、4 位の結果となった。

5 地元企業、地域密着型プロスポーツとの連携

▶ プレステージ・インターナショナル アランマーレ

- ・酒田市を拠点とし、現在、2025-2026 シーズン「大同生命 SV.LEAGUE」に参戦しているアランマーレ山形。今シーズンで創部 11 年目を迎えたチームについて、酒田市、(公財) 酒田市スポーツ協会、アランマーレが所属する(株)プレステージ・インターナショナルの三者で締結している相互支援協定をもとに、練習会場の確保やホームゲームの開催周知等の支援・協力を行っている。



▲リーグ開幕戦となったホームゲーム

- ・令和 7 年 12 月 6 日・7 日、酒田市民応援デーとして INPEX 酒田アリーナを会場にホームゲームが開催された。1,200 人を超える観客が応援に駆け付け、会場は両日とも満席となった。現在、厳しい戦いを強いられているが、3 月 21 日・22 日に今シーズン 3 度目となるホームゲームの開催が予定されている。

▶ モンテディオ山形

- ・J2 リーグに所属するモンテディオ山形の、天童市でのホームゲーム開催に合わせて酒田市応援デー（令和 7 年 8 月 30 日・vs サガン鳥栖）と庄内地域応援デー（令和 7 年 4 月 5 日・vs ジュビロ磐田）を実施。本市在勤・在住の方を対象にバックスタンド自由席の観戦チケットを特別価格で販売。
- ・「明治安田 J2 リーグ」のシーズンが終了したことに伴い、令和 7 年 12 月 3 日、本市担当アンバサダーを含め 2 名の選手が酒田市を表敬訪問した。

▶ パスラボ山形ワイヴァンズ*

- ・B リーグの記念すべき 10 年目シーズン直前の記念大会として、令和 7 年 9 月 22 日、INPEX 酒田アリーナにおいて「酒田米菓 PRESENTS プレシーズンゲーム 2025 酒田大会」が開催された。
- ・本大会は、B 2 リーグに所属するパスラボ山形ワイヴァンズ vs 岩手ビッグブルズの対戦カードで行われ、当日は市内の小中学生 300 名が無料招待された。

(参考) 北の若を応援する会

- ・北の若関については、令和 7 年 1 月の初場所で右足首を骨折した影響で幕内から十両、幕下へ番付を下げたが、一年納めの九州場所で見事、十両に復帰し 8 勝 7 敗で勝ち越しを決め、市民を大いに盛り上げた。
- ・応援する会の活動としては、全会員へ年 6 場所の番付表・会報・カレンダー等を送付するとともに、ホームページでの情報発信、激励会の開催等を行っている。また、今回初の試みとして、山形県立楯岡特別支援学校及び酒田特別支援学校からの申し出により、番付表を活用したエコバッグを製作していただき、個人 2 口・法人 1 口以上の会員に特典として送付した。
- ・スポーツ振興課では、年間を通じて毎場所の星取表を市役所 1 階ロビーに掲示している。